

平成29年度 総社小学校 学校評価書資料

学校 経営 目標	具体的計画	29年度の達成基準  (変更は太字)	自己評価（中間）			自己評価（最終）			学校関係者評価
			達成状況	評 価	改善策	達成状況	評 価	改善策	自己評価の適切さ
1 心 の 教 育 の 充 実	【やさしい子】 ①道徳教育，人権教育，だれもが行きたくなる学校づくりの取組を充実することにより，児童が気持ちのよいあいさつや思いやりの心を生活の中で実践することができるようにする。 (心優しい子供)(礼儀正しい子供)(総社を愛す子供)	①進んであいさつができていという回答が85%以上である。 (児童，保護者，教職員)	教職員…81% 保護者…80% 児 童…90%	B	・現状通り、1週目に挨拶のめあてを設定し、担任が指導する。児童会ポストを活用し、各学級の挨拶の取組を全校に広げたり、委員会の活動を活発に行えるようにしたりする。				
		②思いやりの心をもって生活しているという回答が85%以上である。 (児童，保護者，教職員)	教職員…94% 保護者…93% ○友達への優しさ 児 童…94% ○友達の優しさ 児 童…93%	A	・現状の取組を継続しながら、さらに学級内のピア・サポートやSELの充実を図る。 ・アンケート項目を見直した結果、児童にとって分かりやすい問いになった。 ・人権週間や人権作文、標語について指導する際に、思いやりや友達との関わり方について、担任が話をする。				
2 健 康 ・ 体 力 づ く り	【たくましい子】 ②健康教育，特別活動を充実することにより，児童が基本的な生活習慣を身に付けるとともに，目標をもって最後まで活動に取り組むことができるようにする。	③基本的な生活習慣が身に付くように取り組んでいるという回答が80%以上である。 (児童，保護者，教職員)	教職員…92% ○早寝・睡眠 保護者…82% 児 童…73% ○メディアルール 保護者…75% 児 童…75%	B	・低学年には紙芝居「ねむりの大切さ」、中学年にはねむりの大切さのプレゼンを実施する。 ・各クラスでメディアのルールについて指導、声かけをする。また、10月のメディアコントロール習慣前にルール作りが100%になるようにする。ルールづくりのめあて記入欄に保護者確認印を設けて、家庭でのルールの向上を図る。 ・情報モラル授業を実施する。 (・保護者の負担減のため、親のチェックをできるだけ1つにまとめる。)				
		④行事などに目標をもって最後まで頑張っているという回答が85%以上である。(児童，保護者，教職員)	教職員…100% 保護者…95% 児 童…94%	A	・行事ごとに、学年、学級、個人にめあてを持たせ、振り返りを必ずするようにする。その内容は、各学年の実態に合わせて行う。				

学校 経営 目標	具体的計画	29年度の達成基準  (変更は太字)	自己評価(中間)			自己評価(最終)			学校関係者評価	
			達成状況	評価	改善策	達成状況	評価	改善策	自己評価の適切さ	
3 確 か な 学 力 の 育 成	【すすんで学ぶ子】 ③特別支援教育の視点や協同学習を取り入れることにより、児童が基礎学力を身につけるとともに、主体的に学ぶことができるようにする。  ④生活科、社会科、総合的な学習の時間の充実により、社会参画力を培う。 (総社を愛す子供)	⑤進んで学習に取り組んでいるという回答が85%以上である。 (児童、保護者、教職員)	教職員…88% 保護者…89% 児童…90%	A	・現状の取組(デジタル教科書や視覚教材の活用、児童が主体的に学習に取り組めるような授業の工夫等)を継続して行う。					
		⑥授業が分かりやすいという回答が85%以上である。 (児童、保護者、教職員)	教職員…96% 保護者…84% 児童…89%	B	・現状の取組(「めあて」や「まとめ」の明確な授業、思考力や表現力を高める協同学習や書く活動、個に応じた指導等)を実施する。					
		⑦国語と算数の単元テストで80点以上の児童が、80%以上である。 (教職員)	教職員…55%	C	・今年度は、基準を明確にしたためポイントがダウンしたと考えられる。総チャレや朝学習の取組は引き続き行っていくようにする。 ・どの学年も図形単元に課題があることが分かった。少人数指導やITを活用するとともにボランティアや学年付きの総務の先生にも、協力してもらいながら、個別に丁寧に指導していくようにする。 ・下位の子の学力を上げるため、基礎基本の充実を図るようにする。そのためには、学年間で打ち合わせを充分に行い、課題を共有してから授業を行うようにしたり、授業中は前時との違いをしっかりと把握させ、既習の何が使えるかを考えさせたりするようにする。また、休み時間等を利用して、個別指導を充分に行うようにする。さらに、家庭学習が充実するように、時間の使い方や自主勉強の取組について個別にアドバイスするようにする。					
4 開 か れ た 学 校 づ く り	(総社を愛す子供) ⑤各種の便り、ホームページの更新、学校評価、学校公開により、積極的に情報を発信する。	⑧学校から積極的に情報発信が行われているという回答が85%以上である。 (保護者、教職員)	教職員…82% 保護者…88%	B	・行事が終わって2週間以内にホームページの更新をできるようにしていきたい。					
		⑥家庭や地域との連携を深めることにより、児童の安全・安心を確保するとともに、家庭学習や読書の習慣を定着させる。	⑨登下校時の安全確保の取組を行っているという回答が80%以上である。 (保護者、教職員)	教職員…96% 保護者…84%	A	・工事の進行等に合わせて、担当学年以外も出て、声かけや、指導をしていくことで、安全の確保を図るようにする。 ・下校時のボランティアを増やしていけるように呼びかけをしていく。				
		⑩学年×10分+10分勉強しているという回答が80%以上である。 (児童、保護者、教職員)	教職員…96% 保護者…79% 児童…89%	B	・家庭学習の時間を記入する欄を設けた「がんばりカード」などに継続して取り組む。 ・家庭学習強化週間は、保護者の意識付けを図るのに効果的であった。継続して取り組んでいくようにする。					
	⑪家で読書を行っているという回答が80%以上である。 (児童、保護者、教職員)	教職員…78% 保護者…62% 児童…77%	C	・土、日には本をもって帰ること。2冊のうち1冊は読み物の本を借りること、等、教職員間での徹底が図れていなかった。 ・現状の取組(家読カード、家読週間、図書時間の充実、本の紹介や読み聞かせ等)が充実しているので、継続して取り組むようにするとともに、児童に家で本を読むように声かけをしていく。 ・保護者にも、懇談や、学年、学級通信等で、本のよさについて伝えていくようにする。						